

主催 神戸技調 設計士会と技術交流会 活動内容や資格制度紹介

近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所（神戸技調）は11月27日、WEBセミナー方式で海洋・港湾構造物設計士会（設計士会、会長：山本修司、会員数：130名）との技術交流会を開催した。

神戸技調の主催により、同事務所・調査課がホストとなり整備局と管内各事務所（神戸、大阪、和歌山、舞鶴）及び設計士会をオンラインでつなぎ、設計士の活動や設計士制度の紹介など合同の勉強会を行った。安達昭宏・神戸港湾空港技術調査事務所長の開

会挨拶の後、北尾進・同事務所調査課長の進行によりオンライン勉強会がスタート。八尋明彦・設計士会副会長が、これまでの活動や取り組みについて紹介すると共に、鈴木信夫・同会技術副委員長が、設計士資格制度の目的や資格認定試験における過去の解答例について、技術解説を交えて紹介した。

また、設計士会と同じ平成24年に発足した海洋・港湾構造物維持管理士会（会長：末岡英一、会員数：675名）の活動についても同会の北澤副会長が紹介した。

最後に質疑応答を交えてディスカッションし、設計士資格や今後の性能設計のあり方などについて意見交換を行った。

港湾空港タイムス掲載記事
(2020年12月21日発行)